



子どもの胃腸炎



症状は？

胃腸炎はウイルスや細菌、アレルギー反応や寄生虫などが原因で起こります。子どもの場合は、ロタウイルスやノロウイルスなどが原因のウイルス性胃腸炎であることがほとんどです。

子どもの胃腸炎の症状は、主に以下の通りです。

- 嘔吐
- 下痢
- 腹痛
- 発熱
- 血便 など

数日で自然に治ることが多いですが、まれに脱水症状やけいれんを起こすことがあるため注意が必要です。



目安としては、嘔吐から30分ほど経って症状が落ち着いてきたらティースプーン1杯程度の水分を与えます。しばらくしても嘔吐が起きなければ、5～10分おきにペットボトルキャップ1杯分（5～8ml）程度、またはティースプーン1杯程度の水分を繰り返し飲ませて、様子を見ながら徐々に飲む間隔と量を普段通りに戻していきましょう。

感染したときは？

子どもが胃腸炎に感染した可能性があるときは、まず病院を受診しましょう。特別な治療方法があるわけではありませんが、ほかの病気と見分けたり症状に合わせて薬を処方してもらったりすることができます。

受診後に自宅で過ごすときは、次のようなことを基本としましょう。



1. 安静にする

まずは安静にすることが大切です。嘔吐や下痢は体力を消耗するため、いつも以上に睡眠をしっかりと取り、起きている間でもできるだけ横になって体を休めましょう。

2. 水分補給をする

嘔吐や下痢を繰り返すと体から水分が失われるため、水分補給をして脱水を予防しましょう。ただし、嘔吐後すぐに水分を与えると再び吐いてしまうことがあるため、しばらく胃を休ませてから少量ずつ飲ませるようにしてください。

3. 消化がよい食べ物を食べる

嘔吐の症状がひどかったり下痢が続いていたりするときは、無理に食事をさせる必要はありません。ただし、食べない期間が長くなりすぎると胃腸の機能が低下して回復が遅れることがあります。水分補給がほぼ普段通りにできるようになったら、徐々に食事を再開させましょう。

8月のわくわくサークルのお知らせ

うどん打ち -鶏ハム野菜のぶっかけうどんの試食-

日時：令和7年8月27日（水）10:00～13:00
場所：西庄公民館1階和室
持ち物：コップ、お皿、フォーク、エプロン、三角巾



愛育会の
Instagram